

Little eArth Corporation

株式会社ラック

第15期 報告書 2021.4.1~2022.3.31

証券コード:3857

大手企業を中心とした 確固たる顧客基盤

当社は、他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと、独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供しており、大手企業を中心とした確固たる顧客基盤を有しています。

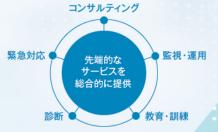
サイバーセキュリティ 対策 サービスに強み

国内最高水準の知見を持つセキュリティエンジニア陣を擁し、悪質かつ巧妙化するサイバー攻撃の脅威からお客様をお守りしています。安定した収益基盤を持つSI事業を支えに、市場での優位性が高いセキュリティ事業を軸にした企業成長を目指しています。



SSS セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。



ITによる豊かな社会への貢献

SIS

ISOC JAPAN SEC

システムインテグレーションサービス

大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強み に、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤 まで一貫したSIサービスを提供しています。





セキュリティ事業の強化に向けた 取り組みを推進

感染力の強いオミクロン株の発生と感染者数の急拡大の影響 により、社会・経済情勢は抑圧的とも言える状況で推移しました。

新型コロナウイルス感染症対策が引き続き求められるなか、 テレワークの推進やクラウド基盤の活用など、企業のデジタル化 が加速する一方で、サイバー攻撃の脅威や被害も拡大してい ます。このような状況に対し、当社はセキュリティ事業の強化を 軸に、サービスラインアップの拡充のほか、グループ会社の再編 や他社との提携などに取り組みました。

グループ会社の再編においては、サイバーセキュリティへの位置づけを明確にするため、アジアンリンクをラックサイバーリンクに社名変更するとともに、サイバーセキュリティ以外の事業を戦略的に縮小しました。SI事業では、アイ・ネット・リリー・コーポレーションを事業シナジーの観点から事業譲渡し、MBO(マネジメント・バイアウト)に応じる形でジャパン・カレントの株式の一部売却を行いました。

また、他社との提携については、IT基盤構築に強みを有する株式会社野村総合研究所と資本業務提携を行い、今後一層の活用が見込まれるクラウド基盤へのセキュリティ対策を進めていくため、両社の合弁会社を設立しました。

この結果、セキュリティ事業は伸長したものの、子会社の事業 譲渡などの影響により売上高、営業利益とも減収減益となりまし た。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益の 計上により大幅な増益となっています。年間配当金は、予定通り 1株当たり24円とさせていただいています。

「共創と挑戦」により セキュリティ事業領域を拡大

昨今、サイバー脅威がクラウドや内部不正といった領域まで 拡大するとともに、ランサム攻撃(身代金要求型のサイバー攻撃) の被害もより増大し、社会課題となっています。「共創と挑戦」という中期経営計画のテーマのもと、サイバーセキュリティで業界をリードしてきた当社は、各領域で強みを持つ企業とともに社会課題の解決に挑みます。

クラウドに関しては、株式会社野村総合研究所と設立した合弁会社において、大企業をはじめとするお客様が安心してクラウド基盤を活用できるよう、両社のノウハウを融合したセキュリティサービスを提供していきます。内部不正対策については、独自ソリューションで定評のある株式会社エルテスとの資本業務提携を通じ、サービスを提供していきます。連携強化のため、当社は株式会社エルテスの第三者割当増資に応じ、2022年5月に10.25%の株式を取得しました。

当社が強みとするサイバー攻撃対策の領域であるランサム 攻撃に対しては、緊急対応サービスや運用監視サービスによる 対応力を一層強化するとともに、教育や診断などのサービスと 連携し、事業拡大に注力していきます。

セキュリティとSIの両事業の拡大により 増収増益を予想

サイバー脅威の領域は広がっており、セキュリティ対策需要は一層拡大するものと考えています。また、企業のデジタル化の加速に伴い、システム開発投資も拡大基調にあると見ています。このような背景から、2023年3月期の連結業績は、セキュリティとSIの両事業の拡大により、売上高、営業利益とも大幅な伸長を予想しています。

2024年3月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向け、 事業・経営基盤の強化とあわせてセキュリティを軸とした成長戦略 を進めていく所存です。株主の皆様におかれましては、中長期的 な視点でご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

西本送郎

▶業績 ハイライト

子会社の事業譲渡などによりSI事業が低調に推移したこと、また事業拡大に向けた販売体制等の強化を進めたことにより、売上高、 営業利益は前期を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、子会社株式売却益や投資有価証券売却益を特別利益として 計上したことにより、大幅な増益となりました。

売上高 426億60百万円 前期比2.4%減 ≥

営業利益 15億95_{百万円} 前期比24.7%減≥

親会社株主に帰属する 当期純利益 14億1百万円

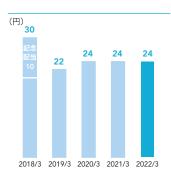
前期比359.8%增入

1株当たり年間配当金 **24**_円









▶事業別概況

SSS事業

競争激化に伴う診断サービスの落ち込みなどはあったものの、 コンサルティングや製品販売が伸長したことにより、増収となり ました。利益は、セキュリティ製品などの事業拡大に対応して販売 体制の強化を進めたことにより、減益となりました。

売上高 193億80百万円

前期比8.8%減 🔰

セグメント利益

SIS事業

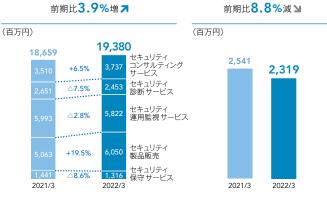
サービス業や製造業向けに開発サービスは伸長したものの、HW /SW製品の更新案件の減少のほか、IT保守における子会社の 事業譲渡やソリューションの大型案件減少などの影響により、減収 減益となりました。

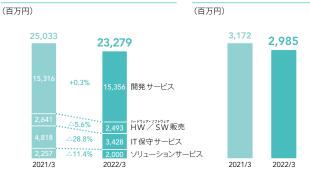
売上高 232億79百万円

セグメント利益

前期比7.0%減≥

前期比5.9%減3





▶2023年3月期 業績予想

企業のデジタル化が進展するとともに、サイバー攻撃の脅威や被害は従来にも増して拡大し、サイバーセキュリティ対策需要の伸長 が見込まれることから、売上高、営業利益ともに大幅な増収増益を予想しています。また、年間配当金は2円増配の1株当たり26円の 予想としています。

				(日万円)
	2022/3実績	2023/3予想	前期比	
			増減額	增減率(%)
売上高	42,660	50,000	+7,339	+17.2
営業利益	1,595	2,100	+504	+31.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,401	1,410	+8	+0.6
1株当たり年間配当金(円)	24	26	+2	+8.3

サイバーセキュリティ事業拡大への取り組み

深刻度が増すサイバー脅威に対し、他社との提携やサービスの拡充などを進めました。

解決する課題	SDGsへの貢献
● クラウド環境における安心・安全な運用● 金融犯罪における不正取引の防止● 情報 セキュリティ事故の防止	9

● 野村総合研究所とクラウドセキュリティ分野で合弁会社を設立

企業でクラウド基盤の活用が一般化していくなか、セキュリティ対策への重要性が一層増しています。

ラックは、日本におけるクラウドセキュリティの標準化なども 見据え、株式会社野村総合研究所(NRI)と2022年1月に資本 業務提携を行い、3月に合弁会社「ニューリジェンセキュリティ 株式会社」を設立しました。

ラックとNRIグループのシステム、運用ノウハウなどを活かし、AIを活用した高度自動化による高品質、低価格なクラウドセキュリティサービスの早期開発と提供を目指します。

合弁会社の概要

会社名	ニューリジェンセキュリティ株式会社
所在地	東京都渋谷区神宮前6丁目12番18号
設立年月日	2022年3月14日 (事業開始日: 2022年4月1日)
資本金	2億円
出資比率	株式会社野村総合研究所:50% 株式会社ラック:50%

● AIを活用した金融犯罪向け不正取引検知サービスの提供

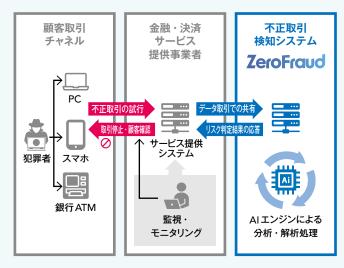
昨今、特殊詐欺による銀行ATMの不正利用の増加が深刻な 社会問題となっています。

ラックは、被害防止の観点から自社の金融犯罪対策センターが開発したAIによる検知システム「AIゼロフラウド」を活用し、不正取引を検知、防御するサービスを開始しました。

本サービスは、金融機関のサービス利用者の取引行動から 特殊詐欺行為を発見し、不正利用を停止することができ ます。

株式会社三菱UFJ銀行と行った実証実験では、ATM不正 出金に対し94%という高い検知率を実現しています。

金融犯罪向け不正取引検知サービスの概要



● 自動化×ラックノウハウによる診断サービスの拡充

インターネットを活用したサービスを次々と展開する企業に とって、Webサイトやサーバなどのセキュリティ診断は期間や コストの面で対応しにくいという課題がありました。

ラックは、自動化ツールを活用するとともに、自社の豊富な 経験とノウハウを組み合わせた自動化診断サービスのライン アップを拡充しました。短期間かつ低コストで高品質なサービ スの提供を実現し、お客様の課題解決に貢献します。

拡充した診断サービスの主なラインアップ

■ Webアプリケーション診断 安全点検パック

自動診断と診断員の診断を組み合わせることで、短期間で広範囲のWebサイトを調査できるサービス。一般的な自動診断では確認できない範囲まで、網羅的な調査が可能。

■ ペネトレーション(侵入)テスト エクスプレス

サーバなどのシステムに対するセキュリティ対策が適切 になされているかを短期間で調査するため、侵入を試みる テストを自動化したサービス。

啓発活動の推進

注意喚起情報の発信をはじめとして、社会のサイバーセキュリティ対策に貢献する取り組みを進めました。

● サイバー攻撃に関する最新の脅威情報の発信

ラックは、安心・安全なデジタル社会の実現に向けて、サイバー セキュリティ分野における最新の脅威情報の発信に努めています。

自社ホームページにおいて、2021年11月頃から大手企業で感染拡大が報道された「Emotet*」への注意喚起を行いました。さらに、マルウェア(悪意のあるソフトウェア)の傾向と対策をテクニカルレポートとして掲載するなど、サイバー脅威への情報発信に取り組みました。

*メール内に添付されたファイルやURLリンクをクリックすると感染し、メールアドレスなどを盗み 出すウイルス

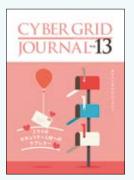


● サイバーセキュリティの仕事を紹介する冊子などを発行

ラックは、サイバーセキュリティに関する啓発活動を行っており、 定期的にレポートを発行しています。

その取り組みのひとつとして、サイバーセキュリティの仕事内容をわかりやすく紹介した「サイバーセキュリティ仕事ファイル①」を発行しました。また、企業経営者向けの冊子「CYBER GRID JOURNAL Vol.13」では、GIGAスクールや人材育成をテーマに取り上げるなど、サイバーセキュリティを身近に感じてもらえるように配慮しました。





● 外部組織と脅威情報を共有するアライアンスを開始

サイバー攻撃が巧妙化、悪質化するなか、一つひとつの組織 が脅威情報を分析し対応するには限界があります。

ラックは、サイバー攻撃に関する脅威情報を外部の組織と相互に共有し、対策の強化に役立てるため「Secure GRID

アライアンス」を立ち上げました。

組織のセキュリティ対策を相互に高め合うコミュニティへと 発展させ、安心・安全なデジタル社会の実現を目指します。

「SecureGRIDアライアンス」のイメージ



会社概要 (2022年3月31日現在)

商 号 株式会社ラック

所在地 〒102-0093

東京都千代田区平河町2丁目16番1号

平河町森タワー

設 立 2007年10月1日

資本金 26億4,807万5,000円

従業員数 連結: 2,114名

個別: 1,638名

役員 (2022年6月22日現在)

取締役会長 髙梨 輝彦

代表取締役社長 西本 逸郎

取締役 船引 裕司 川下 竜一郎 土屋 奈生

社外取締役 村井 純 中谷 昇 佐 々木 通博

村口 和孝

常勤監査役 伊藤 信博

社外監査役 石原 康人 蜂屋 浩一

株式情報 (2022年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株 発行済株式の総数 31,293,120株 株主数 16,496名

株主メモ

事業年度 4月1日~翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日 定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人特別口座の 三菱 UFJ 信託銀行株式会社

口座管理機関

同連絡先 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

Tel: 0120-232-711 (通話料無料)

上場市場東京証券取引所スタンダード

(2022年4月4日現在)

公告の方法 電子公告により行う。

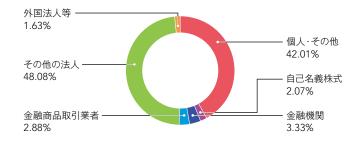
公告掲載 URL https://www.lac.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

大株主 所有株式数 所有比率 (株) (%) KDDI株式会社 9,784,000 31.26 株式会社野村総合研究所 3.130.000 10.00 株式会社SHIFT 1,334,100 4.26 ラック従業員持株会 999 210 3 19 二柴 照和 630,000 2.01 株式会社ベネッセホールディングス 500,000 1.59 株式会社日本カストディ銀行(信託E口) 473,800 1.51 株式会社日本カストディ銀行(信託口) 435,200 1.39 髙梨 輝彦 268,400 0.85

※自己株式は647,629株ですが、議決権がないため上位10名までの大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況

楽天証券株式会社



株主様アンケートのお願い

株主様向け報告書を含めたIR活動の充実を図るため、Webサイトによるアンケートにご協力をお願いいたします。お手数ではございますが、右記のURLにアクセスしていただき、株主の皆様の声をお聞かせください。(実施期間2022年9月30日まで)



https://krs.bz/lac/m/enq_annual15

259,800

0.83

ラックIRサイトのご紹介

株主・投資家の皆様の理解促進につながるよう、IRサイトを通じた情報提供の充実に努めています。

決算情報はもとより、会社や事業の特徴の紹介、ESG (環境、 社会、企業統治)情報、統合報告書を含めたIR関連の各種資料 を掲載しています。

このような取り組みにより、当社IRサイトは全上場企業のなかで高い評価を受けています。

https://www.lac.co.jp/ir/



主なコンテンツ

□ ラックレポート(統合報告書)

ラックの価値創造への取り組みを包括的に まとめてご紹介しています。

ロ ラックの ESG

「環境、社会、企業統治」の観点から、社会 課題の解決に貢献するラックの取り組みをご 紹介しています。

☑ IRメールマガジン

決算やプレスリリース、サイバーセキュリティ に関する情報を適宜、配信しています。



経営企画部 IR室



